

テストの採点が、こんなに便利!



EdLog クリップ採点支援システム™
エドログ

ひまわりエディション



パソコン上で、
デジタル採点

時間短縮

指導のふり返し

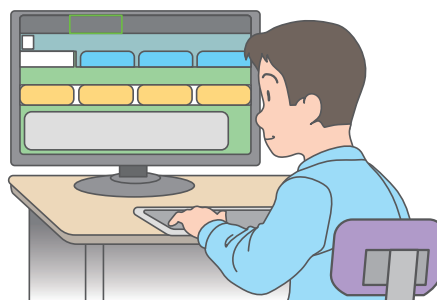
1



スキャナーで
児童が解答した
光文テストを
スキャン

2

スキャンデータを
PCに取り込む



3

取り込んだデータを、問題ごとにクラス分表示

さあ、採点!!

解答の採点 (算数 6年 単元テスト 01)

何もクリックしない場合は、初め値は【○】と設定されています。

クラス 1組

配点 正解の場合 5 点 部分点 - 3 + 点

モード 採点 手書き

縦横比 自動 固定

解答欄 6 / 21 問

向き 縦 横

表示数 40 11 5

ページ 1 / 1 頁

ですか。 (辺 AB (BA))	5	ですか。 (辺 AB)	ですか。 (辺 AB)	ですか。 (辺 AB)	ですか。 (△)	3	ですか。 (辺 BA)	ですか。 (辺 AB)
ですか。 (辺 BA)		ですか。 (△)	ですか。 (辺 AB)	ですか。 (辺 AB)	ですか。 (辺 BA)		ですか。 (辺 AB)	ですか。 (辺 AB)
ですか。 (△)		ですか。 (辺 AB)	ですか。 (辺 AB)	ですか。 (辺 AB)	ですか。 (△)	3	ですか。 (△)	ですか。 (△)
ですか。 (辺 AB)		ですか。 (△)	ですか。 (辺 AB)	ですか。 (辺 AB)			ですか。 (△)	ですか。 (△)

この採点方式のメリットは…… (続く)

名前を表示

高品質表示

戻る

終了

採点結果一覧へ

これはいいね！

採点の手順に見る！

デジタル採点の魅力

採点の手順

実施・回収

スキャニング

採点

デジタル採点

ひまわりエディション

アナログ採点

赤ペンでの採点

デジタル採点の仕方やメリットを紹介します。

テストを回収するごとに、児童の答案用紙をスキャニングして、先生のパソコンに取り込みます。

さあ、採点！デジタル採点の最大のメリットは、ここにあります。その名も通称、「**串刺し採点**」。

問題ごとに、**クラス全員分の解答を一画面上で並べて採点**できます。

デジタル採点を導入すると、この作業が必要です。

「採点」に寄せられたご意見

- ▶ 部分点(△)をつけるとき、児童によって点数がぶれることがあるので、それをなくしたい。
- ▶ 模範解答を覚えきれないので、模範解答を確かめながら採点するので時間がかかる。

デジタル採点の3大メリット！

採点時間の短縮

ブレない採点

指導のふり返し

⇒ 22・23ページ

観点合計点の集計
表裏合計点の集計

Excel転記
ひまわり先生得点入力

返却

自動計算なので、つけた○の数や部分点が観点別に合計され、得点欄に得点を記入することはありません。

採点結果をひまわり先生に取り込むために、観点ごとに転記したり、得点を入力したりする必要はありません。

返却にあたり、通過率の悪かった設問がクリアになっているので、その問題へのフォローが確実にできます。

デジタル採点では、この手順が不要となります！

- 観点合計・表裏合計
- 帳簿転記・ひまわり先生得点入力

デジタル採点が終わったら、「自動計算」そのまま「ひまわり先生」に取り込み⇒そして返却へ

「得点集計・得点入力」に寄せられたご意見

- ▶ ○付けした得点を観点別に合計するときに、一度では安心できないので、何度か確かめる。
- ▶ 児童の得点を帳簿やひまわり先生に入力するときに、転記間違いがないか、確認の時間がかかる。

返却のときに、児童の得点に応じてプリントを配布できるとよいと思っていました。

ご活用
先生に
インタビュー

「串刺し採点」方式の 何がよいのか!?

解答の採点 (国語 5年 単元テスト 01)

クラス 1組

モード 採点 手書き

配点 正解の場合 5点 部分点 - 3 + 点

縦横比 自動 固定

解答欄 24 / 32 問

向き 縦 横

表示数 40 10 4

ページ 1 / 1 頁

常に模範解答を表示

◆問題ごと
◆クラス全員分
◆一覧採点

名前を表示 高品質表示 戻る 終了 採点結果一覧へ

採点のブレがないこと!



何といっても「採点のブレがなくなったこと」です。使ってみて目からウロコでした。模範解答を見ながら、1問だけを児童数分○付けしていけるから、ブレることがないんです。子どもによって解答のニュアンスが異なる答えがあり、ある児童には○を付けていたけどある児童には△を付けていたようなことが得てしてあったんです。

でもこのシステムでは、児童数分並べて比べられるので、そのニュアンスの違いで採点が変わることが完全に排除されます。比較が一目でできるので、これは本当によいです。

解答の違う児童だけチェックできる!



テストはほとんど平均80点以上なので、画面で一覧で見たときに、答えの違う児童は、少ししかいないので、すぐに分かります(35人学級で6~7人のイメージ)。問題によっては、一人間違っているかどうかです。なので、並べて採点できると、視覚的にちゃちゃっとスピーディーに○付けすることができ、間違っている児童だけに注目し、間違え方も比べられるので、その理由も分かったりします。

これは、指導のふり返し・見直しになる!



全問○付けが終わった後、「採点結果一覧」をクリックすると、観点や設問ごとに通過率が何パーセントという表示が出るので、クラスとして理解できているかどうかの状況を把握することができます。テストを児童に戻すときに、できていなかった問題を紹介して、その確認・ふり返しをすることがしやすくなったと思います。

また、クラス全体の見取りは、単元全体を指導してきた中で、指導が足りなかった部分など教師のふり返しにつながり、とても有効であると感じています。

何といっても、○付け後の作業がない!



何といっても、ダントツによかったと思えたのは、パソコン上で全部採点が終わって、テストの結果をCSVで出力するとそれをひまわり先生に取り込めるということですね。これまで手入力をしていたものが、一度に取り込めるのは、すごく時間短縮になっていると思います。これはほかの先生もすごく感動しているところです。どれだけ時間の短縮になっているのでしょうか。感覚的には30%以上だと思います。

さらにお得な機能紹介!

【+ひまわり機能】習熟度別補助プリント

個別パワーアッププリント

5年5組

プリントのインストール

プリントの印刷

4 個人別補助プリント

5 内蔵補助プリント

印刷



採点結果をひまわり先生に取り込むと、「個別パワーアッププリント(補充プリント)」が出てくるのがすごくよいと思います。子どもの習熟度によって違うプリントが出せます。テストをやって終わりではなくて、テストをきっかけに学び直すというのが本来の評価だと思うのですが、その姿に近づいたと思います。テスト自体の捉え方も少し変わってきました。

習熟度の高い児童用

算数 小数のかけ算

1 練習しましょう。

① 0.57×1.8 ② 2.7×8.45 ③ 3.6×4.5

2 練習しましょう。

④ 2.8×5.3 ⑤ 0.25×2.4 ⑥ 5.9×7.4

▲習熟度の高い児童用

習熟度の低い児童用

算数 小数のかけ算

1 練習しましょう。

① 2.8 ② 5.9

③ 5.3 ④ 7.4

2 練習しましょう。

⑤ 2.7 ⑥ 0.25

⑦ 4.5 ⑧ 2.4

▲習熟度の低い児童用

【専科向け】2クラス以上を通して採点!

解答の採点 (算数 6年 単元テスト 01)

クラス 1組 2組

解答欄 14 / 21 問

向き 縦 横

表示数 40 10 5

ページ 1 / 2 頁

名前を表示 高品質表示 戻る 終了 採点結果一覧へ

理科専科や算数の習熟度別少人数など、クラスを越えた評価も、児童の答案用紙を連続して取り込むことで、一覧採点することができます。

図形の評価に【重ねて表示】機能!

手書きパレット

解答欄 12

クラス 1組

名前 戸田 啓佑

字種 4 6 / 20

コメント

重ねて表示

86%

78%

点の許容

アナログ採点用には、「作図採点シート」がついていましたが、デジタル採点では、模範解答の「重ねて表示」の機能で、児童の答案を確認することができます。

光文書院のデジタル採点システムとは?



EdLog クリップ採点支援システム™

ひまわりエディション

従来の手書きによるテストのアナログ採点とは異なり、パソコン上でデジタル採点ができるシステムです。採点時間の短縮、採点基準の均一化が図れ、児童一人ひとりの得点集計・成績分析が簡単に、また、スピーディーにデータ化ができます。

光文書院と株式会社EdLog(エドログ)のコラボレーションによって実現した、「先生の働き方改革」を支援する新しいソリューションです。



【先生の働き方改革】

EdLog クリップ採点支援システム™

ひまわりエディション